

VI 疾病対策課の業務概要

結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、肝炎対策事業、原爆被爆者対策事業等について関係機関と連携を図りながら業務を行っている。

1 結核予防事業

結核の新登録患者数は17人で前年比5人減となっている。年末時登録者数は50人で前年比6人増、罹患率(人口10万対)は5.3で1.5減、有病率(人口10万対)は3.1で0.9減となった。

新登録患者の内訳では、喀痰塗抹陽性患者は8人で前年比4人増、無症状病原体保有者は8人で前年比4人減である。

医療が必要な全結核患者(潜在性結核感染症患者を含む)に対して、訪問や面接等でDOTS(直接監視下短期化学療法)を実施している。

また、服薬治療支援のため、君津中央病院を会場にDOTS会議を開催し、患者の支援計画の検討や情報交換を行い服薬支援の徹底に努めた。

2 感染症予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条に基づく医師からの届出は、3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が17件、4類感染症のつつが虫病が7件、日本紅斑熱が1件、レジオネラ症が11件であった。

その他にノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が13件発生した。

上記の3・4類感染症及びその他集団発生の疑われる事案については、法律第15条に基づく積極的疫学調査を実施し、感染拡大防止を図った。

管内の感染症発生状況を取りまとめた「君津保健所管内感染症情報」を管内の医療機関や市等の関係機関に毎週情報提供を行った。

また、管内関係機関を対象とした感染症予防対策に関する研修会を実施した。

3 エイズ対策事業

性感染症の啓発普及活動として、管内児童養護施設職員、児童相談所職員、助産師・保健師等を対象とした性教育に関する講演会を実施した。また、地域住民への周知を目的とし管内主要駅へのポスター掲示や啓発物資の配架を行った。

HIV抗体検査及び性感染症検査については、即日検査(月2回)及び夜間検査(隔月1回)を実施し、感染者の早期発見に努めている。

4 肝炎対策事業

肝炎検査については、HIV検査と同時間帯に実施をしている。

5 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、各種手当の支給等を行った。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移 (単位：人)

年 区分		平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
管 内 人 口		326,889	326,810	324,171	323,704	322,464	321,256	320,409
新 登 録 患 者 数		73	61	30	25	28	22	17
年 末 時 登 録 者 数		168	103	75	63	53	44	50
結核死亡者数	管 内	1	3	1	－	2	1	2
	千 葉 県	71	68	68	82	60	47	59
結 核 死 亡 率 (人口10 万対)	管 内	0.3	0.9	0.3	0.0	0.6	0.3	0.6
	千 葉 県	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	0.9	1.2
罹 患 率 (人口10 万対)	管 内	22.3	18.7	9.3	7.7	8.7	6.8	5.3
	千 葉 県	17.0	13.7	9.8	8.8	7.5	7.6	7.8
有 病 率 (人口10 万対)	管 内	15.6	12.2	4.6	4.6	5.9	4.0	3.1
	千 葉 県	11.9	9.0	5.9	5.3	4.9	4.9	4.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10 万/人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10 万/人口

(2) 新登録患者数

表1－(2) 新登録患者数(活動性分類別) (単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					罹 患 率 (人口10 万 対)	塗 抹 肺 結 核 の 割 合 (%)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	結 核 死 亡 者 の 死 体	結 核 死 亡 疑 い 者 の 死 体	
		活 動 性 肺 結 核											活 動 性 肺 外 結 核
		計	喀 痰 塗 抹 陽 性	そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 そ の 他								
(別掲)													
令和 4 年	28	19	10	4	5	9	8.7	52.6	13	-	-	-	
令和 5 年	22	14	4	6	4	8	6.8	28.6	12	-	-	-	
令和 6 年	17	11	8	3	-	6	5.3	72.7	8	-	-	-	
木更津市	6	5	4	1	-	1	4.4	80.0	3	-	-	-	
君 津 市	5	2	1	1	-	3	0.3	50.0	3	-	-	-	
富 津 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
袖ヶ浦市	6	4	3	1	-	2	9.2	75.0	2	-	-	-	

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1－(3) 年末時登録者数(活動性分類別) (単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核						不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人口10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別掲)	
		計	活 動 性 肺 結 核				活 動 性 肺 外 結 核				治 療 中	観 察 中
			計	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性	登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 そ の 他						
令和 4 年	53	19	13	7	2	4	6	32	2	5.9	7	1
令和 5 年	44	13	9	4	3	2	4	30	1	4.0	7	2
令和 6 年	50	10	6	3	3	－	4	38	2	3.1	2	2
木更津市	31	3	2	1	1	－	1	26	2	2.2	1	－
君 津 市	5	3	2	1	1	－	1	2	－	3.8	1	1
富 津 市	7	－	－	－	－	－	－	7	－	－	－	－
袖ヶ浦市	7	4	2	1	1	－	2	3	－	6.1	－	1

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表 1 - (4) 新登録患者数 (年齢階級別) (単位：人)

区分 年 市町村	総 数	0 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以上
令和 4 年	28	－	1	1	1	5	2	1	7	7	3
令和 5 年	22	－	1	1	－	－	4	－	4	9	3
令和 6 年	17	－	－	3	1	－	1	2	5	4	1
木更津市	6	－	－	3	－	－	－	2	1	－	－
君津市	5	－	－	－	－	－	－	－	1	3	1
富津市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
袖ヶ浦市	6	－	－	－	1	－	1	－	3	1	－

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表 1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別) (単位：人)

区分 年 市町村	総 数	0 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以上
令和 4 年	53	－	1	5	3	6	9	3	11	12	3
令和 5 年	44	－	1	1	2	5	9	3	8	12	3
令和 6 年	50	－	1	2	5	2	8	5	9	15	3
木更津市	31	－	1	2	4	2	6	5	1	7	3
君津市	5	－	－	－	－	－	－	－	1	4	－
富津市	7	－	－	－	－	－	1	－	4	2	－
袖ヶ浦市	7	－	－	－	1	－	1	－	3	2	－

(6) 患者面接実施状況

表1－(6) 患者面接実施状況

区分 年		人数（人）	DOTS 内容（延件数）															
			登録時喀痰塗抹陽性								喀痰塗抹陰性				潜在性結核			
			入院時				退院後				訪 問 面 接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局	訪 問 面 接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局
			訪 問 回 数	左の内訳			訪 問 面 接	所 内 面 接	電 話 ・ そ の 他	薬 局								
				初 回	期 間 内	退 院 前												
令和4年	保健師	6	42	9	27	6	25	5	99	－	44	12	143	－	8	12	42	－
	DOTS 支援員	4	－	－	－	－	－	－	－	－	17	－	－	－	－	－	－	－
	薬 局	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和5年	保健師	5	18	4	9	5	45	4	100	－	149	35	220	－	7	29	79	－
	DOTS 支援員	3	－	－	－	－	3	－	－	－	14	－	－	－	－	－	－	－
	薬 局	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和6年	保健師	5	19	7	11	1	65	8	69	－	66	16	35	－	13	3	49	－
	DOTS 支援員	1	－	－	－	－	4	－	－	－	8	－	－	－	12	－	－	－
	薬 局	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和6年	患者数 （人）		15								15				15			

(7) DOTS 実施状況

表1－(7) DOTS 実施状況 (単位: 人)

区分 年		全 結 核 患 者			潜 在 性 結 核 感 染 症
			肺 結 核 患 者 （ 再 掲 ）		
			肺 結 核 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 （ 再 掲 ）		
令 和 4 年	実 施 者 数	28	19	9	13
	患 者 数 ※	28	19	9	13
令 和 5 年	実 施 者 数	22	14	10	12
	患 者 数 ※	22	14	10	12
令 和 6 年	実 施 者 数	22	15	5	12
	患 者 数 ※	22	15	5	12

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表 1 - (8) - ア 家族健診実施状況

区分 年	対象人数 実人数 ①	実施人数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和 4 年	39	38	97.4	58	41	2	15	-	-	35	-	2	1	2.6
令和 5 年	35	35	100.0	56	36	-	17	1	2	34	-	1	-	-
令和 6 年	29	29	100.0	39	29	-	10	-	-	29	-	-	-	-
保 健 所				17	15	-	2	-	-					
委 託 分				22	14	-	8	-	-					
そ の 他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表 1 - (8) - イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象人数 実人数 ①	実施人数 実人数 ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和 4 年	114	114	100	133	95	1	37	-	-	110	-	4	-	-
令和 5 年	84	84	100	104	65	-	39	-	-	80	-	4	-	-
令和 6 年	240	238	99.2	424	396	-	28	-	-	234	1	3	-	-
保 健 所				384	382	-	2	-	-					
委 託 分				28	12	-	16	-	-					
そ の 他				12	2	-	10	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表 1－(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
令和 4 年	54	54	100.0	99	85	7	7	17	37	－	－
令和 5 年	47	45	95.7	79	64	6	9	18	27	－	－
令和 6 年	42	41	97.6	77	67	6	4	9	32	－	－
保 健 所				2	2	－	－				
委 託 分				54	49	3	2				
そ の 他				21	16	3	2				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表 1－(10)－ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況 (37 条の 2) (単位：件)

区分 年		総数			被用者保険						国民健康 保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
					本人			家族														
		諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格
令和 4 年	51	50	1	18	18	－	5	5	－	6	5	1	20	20	－	2	2	－	－	－	－	
令和 5 年	53	53	－	15	15	－	3	3	－	5	5	－	27	27	－	2	2	－	1	1	－	
令和 6 年	48	48	－	18	18	－	3	3	－	8	8	－	18	18	－	1	1	－	－	－	－	

表 1－(10)－イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況 (37 条) (単位：件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族					
令和 4 年	14	3	－		3	6	1	1
令和 5 年	7	－	－		1	6	－	－
令和 6 年	12	3	－		2	6	1	－

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1－(11)－ア 就業制限通知数 (単位：件)

年	総数
令和4年	18
令和5年	8
令和6年	13

表1－(11)－イ 入院勧告数 (単位：件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
令和4年	15	14	14
令和5年	6	6	8
令和6年	12	11	10

表1－(11)－ウ 入院措置数 (単位：件)

年	入院措置数
令和4年	－
令和5年	－
令和6年	－

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA 検査実施状況

表1－(12)－ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位：件)

区分 年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
令和4年	－	3	1	2	－	3	－	－
令和5年	－	－	－	－	－	－	－	－
令和6年	－	－	－	－	－	－	－	－

表1－(12)－イ IGRA 検査実施状況 (単位：件)

区分 年	IGRA 検査数 (延件数)		結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
令和4年	77	59	130	－	6	－
令和5年	78	23	89	－	12	－
令和6年	397	26	417	1	4	1

(13) エックス線検査実施状況

表1－(13) エックス線検査実施状況 (単位：件)

区分 年	総 数		接触者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
令和4年	15	64	8	18	7	46
令和5年	－	94	－	43	－	51
令和6年	6	73	4	24	2	49

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1－(14) 定期結核健康診断実施報告状況 (単位：人)

年 区 分		項 目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
令和4年			120,086	29,678	24.7	2,902	26,153	241	2	－	－
令和5年			119,347	29,195	24.5	8,763	20,385	138	4	1	0.008
令和6年			119,470	29,035	24.3	3,592	25,443	42	1	1	0.008
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		3,808	3,792	99.6	464	3,328	－	－	－	－
	施設長	福祉施設入所者 (65歳以上)	2,651	2,568	96.9	186	2,382	－	－	－	－
		その他施設 入所者	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		事業者	14,020	13,548	96.6	2,942	10,606	42	1	1	0.007
	市町村長		98,991	9,127	9.2	－	9,127	－	－	－	－

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1－(15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場所	形態	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
10月2日	君津保健所	講演	令和6年度感染症対策研修会 「高齢者の結核とは」	高齢者・障害 者施設職員	68

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2－(1) 1類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和6年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2－(2) 2類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾患名	人数	市町村
令和6年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2－(3) 3類感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和4年	3	—	—	3	—	—
令和5年	5	—	—	5	—	—
令和6年	17	—	—	17	—	—
木更津市	8	—	—	8	—	—
君津市	7	—	—	7	—	—
富津市	1	—	—	1	—	—
袖ヶ浦市	1	—	—	1	—	—
その他 (管外)	—	—	—	—	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2－(4) 4類感染症病発生状況（発生届受理数）

(単位：人)

疾 患 名		令和4年	令和5年	令和6年
1	E型肝炎	1	2	—
2	ウエストナイル熱	—	—	—
3	A型肝炎	—	—	—
4	エキノкокクス症	—	—	—
5	エムボックス	—	—	—
6	黄熱	—	—	—
7	オウム病	—	—	—
8	オムスク出血熱	—	—	—
9	回帰熱	—	—	—
10	キャサヌル森林病	—	—	—
11	Q熱	—	—	—
12	狂犬病	—	—	—
13	コクシジオイデス症	—	—	—
14	ジカウイルス感染症	—	—	—
15	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）	—	—	—
16	腎症候性出血熱	—	—	—
17	西部ウマ脳炎	—	—	—
18	ダニ媒介脳炎	—	—	—
19	炭疽	—	—	—
20	チンググニア熱	—	—	—
21	つつが虫病	1	4	7
22	デング熱	1	—	—
23	東部ウマ脳炎	—	—	—
24	鳥インフルエンザ （鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9）を除く）	—	—	—
25	ニパウイルス感染症	—	—	—
26	日本紅斑熱	1	3	1
27	日本脳炎	—	—	—
28	ハンタウイルス肺症候群	—	—	—
29	Bウイルス病	—	—	—
30	鼻疽	—	—	—
31	ブルセラ症	—	—	—
32	ベネズエラウマ脳炎	—	—	—
33	ヘンドラウイルス感染症	—	—	—
34	発しんチフス	—	—	—
35	ボツリヌス症	—	—	—
36	マラリア	—	—	—
37	野兎病	—	—	—
38	ライム病	—	—	—
39	リッサウイルス感染症	—	—	—
40	リフトバレー熱	—	—	—
41	類鼻疽	—	—	—
42	レジオネラ症	4	10	11
43	レプトスピラ症	—	—	—
44	ロッキー山紅斑熱	—	—	—

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2ー(5)ーア 5類感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

疾 患 名		令和4年	令和5年	令和6年
1	アメーバ赤痢	4	1	2
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	—	—	—
3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6	1	3
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	—	—	—
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、 ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネ ズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	1	2	5
6	クリプトスポリジウム症	—	—	—
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	—	—	—
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	9	5
9	後天性免疫不全症候群	—	—	—
10	ジアルジア症	—	—	—
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	2	—
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	—	—	—
13	侵襲性肺炎球菌感染症	6	5	3
14	水痘(入院例に限る。)	1	1	—
15	先天性風しん症候群	—	—	—
16	梅毒	14	23	16
17	播種性クリプトコックス症	—	—	—
18	破傷風	—	2	—
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	—	—
21	百日咳	—	1	1
22	風しん	—	—	—
23	麻しん	—	—	—
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	—	—

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2－(5)－イ－(ア)－a 患者定点医療機関数 (単位：箇所)

インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
13	8	2	2	1	1

b 定点把握対象疾患

表2－(5)－イ－(ア)－b 定点把握対象疾患状況 (単位：人)

	疾 患 名	令和4年	令和5年	令和6年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	72	9,214	10,451
2	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	－	6,156	8,155
3	RS ウイルス感染症	44	83	60
4	咽頭結膜熱	14	199	194
5	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	247	482
6	感染性胃腸炎	704	1,003	964
7	水痘	19	13	77
8	手足口病	370	225	1,705
9	伝染性紅斑	6	20	116
10	突発性発しん	66	57	69
11	ヘルパンギーナ	73	538	83
12	流行性耳下腺炎	22	25	23
13	急性出血性結膜炎	－	－	4
14	流行性角結膜炎	11	44	44
15	性器クラミジア感染症	30	17	53
16	性器ヘルペスウイルス感染症	10	18	17
17	尖圭コンジローマ	2	3	2
18	淋菌感染症	－	1	1
19	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	－	－	5
20	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	－	－	－
21	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	－	－	－
22	マイコプラズマ肺炎	4	9	114
23	無菌性髄膜炎	－	－	－
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	1	1
25	メチシリン耐性黄色ブドウ菌感染症	35	69	62
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	－	－	－

(イ) 病原体定点

表2－(5)－イ－(イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数（箇所）	1	1	－	1
検体提供数（件）	26	3	－	4

(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況

表2－(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況（発生届受理数）（単位：人）

年	疾 患 名	人 数	市 町 村
令和6年	－	－	－

(7) その他

表2－(7) インフルエンザ様疾患届出状況（単位：件）

年度 区分	届出 施設数	届出 患者数	措 置			
			学級 閉鎖数	学年 閉鎖数	休校数	その他
令和4年度	45	293	26	18	1	－
令和5年度	70	3,163	233	80	4	－
令和6年度	51	1,657	71	23	2	－
幼稚園	－	－	－	－	－	－
小学校	32	1,042	53	16	－	－
中学校	18	606	17	7	2	－
高等学校	－	－	－	－	－	－
その他	1	9	1	－	－	－

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2－(8)－ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年 度	疾 患 名	調 査（人）	検 査（件）
令和6年度	－	－	－

イ 2類感染症

表2－(8)－イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況（結核は除く）

年 度	疾 患 名	調 査（人）	検 査（件）
令和6年度	－	－	－

ウ 3 類感染症

表 2－(8)－ウ 3 類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況

(単位：調査 (人)、検便 (件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス	
	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便
令和 4 年度	7	16	—	—	—	—	7	16	—	—	—	1
令和 5 年度	5	18	—	—	—	—	5	18	—	—	—	—
令和 6 年度	16	73	—	—	—	—	16	73	—	—	—	—

エ 4 類感染症

表 2－(8)－エ 4 類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和 6 年度	つつが虫病	9
	レジオネラ症	9
	日本紅斑熱	5
	E 型肝炎	1

オ 5 類感染症

表 2－(8)－オ 5 類感染症患者健康調査状況

年 度	疾 患 名	調 査 (人)
令和 6 年度	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3
	麻しん疑い	3

カ 新型インフルエンザ等感染症

表 2－(8)－カ 新型インフルエンザ等感染症健康調査状況

区 分	疾 患 名	調 査 (人)
令和 6 年度	—	—

キ 集団発生事例

表2－(8)－キ 令和6年度感染症集団発生（クラスター）調査状況（単位：件）

疾患名	保育所・幼稚園	学校	児童福祉施設	高齢者施設	障害者施設	医療機関
感染性胃腸炎	7	—	—	3	3	—
インフルエンザ	1	—	—	5	5	2
新型コロナウイルス感染症	—	—	2	27	15	18
手足口病	3	—	1	—	—	—

(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2－(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

区 分 年 度	総 数	管 外 で の 感 染 症 発 生 に 伴 う 調 査 数 (人) (検疫通報除く)	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 及 び 同 行 者 調 査 数 (人)	検 便 実 施 者 数 (件)	検出菌（件）			
					コレラ	赤痢	腸管出血性大腸菌	その他
令和4年度	1	1	—	1	—	—	—	—
令和5年度	1	1	—	1	—	—	—	—
令和6年度	8	8	—	8	—	—	—	—

(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数

表2－(10) 衛生研究所・検査課への検査依頼数（単位：件）

年 度	疾 患 名	結 果		計
		陽性	陰性	
令和6年度	腸管出血性大腸菌感染症	13	66	79
	細菌性赤痢	—	2	2
	日本紅斑熱・つつが虫病・重症熱性血小板減少症候群ウイルス	9	1	10
	感染性胃腸炎	57	6	63
	麻しん	—	2	2
	麻しん・エムポックス	—	1	1

(11) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2－(11)－ア 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名	計
	腸管出血性大腸菌感染症	
令和4年度	3	3
令和5年度	5	5
令和6年度	16	16

表2－(11)－イ 入院勧告通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名	計
	—	
令和4年度	—	—
令和5年度	—	—
令和6年度	—	—

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会

表2－(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テーマ	実施対象	参加人数 (人)
8月5日	君津保健所	令和6年度院内感染対策研修会 「医療機関における薬剤耐性菌対策」	管内医療機関職員	40
9月27日	君津保健所	令和6年度感染症対策研修会 「保育園・幼稚園等における感染対策」	管内保育園、幼稚園等	40
10月2日	君津保健所	令和6年度感染症対策研修会 「高齢者及び障害者施設における感染対策」	管内高齢者施設、障害者施設、市担当課職員	68

イ 市・医療機関、社会福祉施設、学校等への支援状況

・ 社会福祉施設

集団発生が確認された施設に対し、調査及び感染拡大防止のための指導を実施し、必要時物品の支援を行った。

- ・ 学校等

学校欠席者・感染症情報システムにて、感染拡大状況を把握し、必要時、状況確認の上、感染拡大防止策について指導を実施した。また、同システム上コメント欄にて、1回感染拡大防止を目的とした注意喚起を実施した。

- ウ 感染症情報ネットワーク事業

管内における関係機関と感染症情報の迅速な共有を図るために「君津保健所管内感染症情報」を週1回定期配信している。

令和6年度は29機関に対し52回の定期配信を実施した。

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数(人)	主な内容
—	—	—

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数(人)	主な内容
5月30日	42	所内職員、消防署職員、IHEAT要員を対象とし、防護服着脱訓練を実施した。
1月23日	9	新型インフルエンザ等感染症要観察例が管内で発生した場合を想定。感染症指定医療機関の感染管理認定看護師を訓練講師に招き、医療措置協定締結医療機関と机上訓練を実施した。

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テーマ	対 象	参加人数 (人)
12月17日	君津保健所	児童養護施設職員を対象とした性教育講習会	「施設で暮らすこどもの性」～事故防止からSRHRの保障への転換～	児童養護施設職員、助産師、児童相談所職員	33

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3－(1)－イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実施日	主 な 内 容
5 月 27 日 ～6 月 10 日	HIV 検査・普及週間に合わせ、管内の主要駅に設置の電光掲示板へのポスター掲示及び管内施設へ啓発物資の配架を行った。
11 月 25 日 ～12 月 31 日	ストップエイズウィーク及び世界エイズデーに合わせ、管内の主要駅に設置の電光掲示板へのポスター掲示及び管内施設へ啓発物資の配架を行った。

(2) エイズ相談受付状況

表3－(2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

性別 年度	相談方法	件数	合計
令和4年度	電話相談	94	111
	来所相談	17	
	その他	－	
令和5年度	電話相談	85	256
	来所相談	171	
	その他	－	
令和6年度	電話相談	80	333
	来所相談	253	
	その他	－	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3－(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

検査 年度	HIV 検査	クラミジア 検査	梅毒検査	淋菌感染症 検査	B型肝炎 検査	C型肝炎 検査
令和4年度	17	17	17	17	17	17
令和5年度	169	168	169	168	175	175
令和6年度	251	239	250	239	247	247

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

令和5年度より、年2回の定期健康診断が委託医療機関で実施可能となったため、令和6年度は委託医療機関での定期健康診断を案内し、被爆者の健康増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4－(1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和4年度	94(-)	-	1	-	9	86(-)
令和5年度	86(-)	-	-	-	11	76(1)
令和6年度	76(1)	-	1	1	4	72(1)
木更津市	36(-)	-	-	1	1	34(-)
君津市	21(1)	-	1	-	1	21(1)
富津市	5(-)	-	-	-	1	4(-)
袖ヶ浦市	14(-)	-	-	-	1	13(-)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4－(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年 度	施 設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和4年度	保健所	前期	93	8	8.6	2
		後期	93	-	-	-
	委託医療機関		93	2	2.2	1
令和5年度	保健所	前期	86	-	-	-
		後期	77	10	13.0	-
	委託医療機関		86	9	10.5	2
令和6年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		76	9	11.8	1

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4－(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	82	69	65
医 療 特 別 手 当	4	4	4
特 別 手 当	－	－	－
原子爆弾小頭症手当	－	－	－
健 康 管 理 手 当	62	54	51
保 健 手 当	6	6	5
介 護 手 当	1	－	－
葬 祭 料	9	5	5
健 康 手 当	66	59	55

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。